

令和４年第２回宝塚市教育委員会の会議（定例会）会議録

１ 開催日 令和４年２月９日（水）

２ 場 所 宝塚市役所 教育長応接室

３ 開会時間 午後２時００分

４ 閉会時間 午後２時５０分

５ 出席した委員の氏名

五十嵐 孝教育長、木野 達夫委員、篠部 信一郎委員、望月 昭委員
及び松浦 一枝委員

６ 除斥した委員の氏名

７ 委員及び傍聴人を除く、議場に出席した者

管理部長	村上 真二	教育企画課長	岡本 進
社会教育部長	柴 俊一	施設課長	豊田 善弘
教育支援室長	辻本 宏敬	学事課長	今社 政彦
学校教育部次長	美除 浩	学校教育課長	平野 聖幸
学校教育部次長	谷川 妙美	社会教育課長	水野 寧
生涯学習室長	津田 裕司	学校教育課副課長	片上 健太郎
		教育企画課係長	小松 謙太
		施設課係長	平田 泰三

８ 会議の書記

教育企画課事務職員 藤原 明穂

９ 議題

○議案第１号 令和４年度教育委員会所管一般会計予算（案）の提出について意見を申し出ることについて

○報告事項 令和３年（２０２１年）１２月における宝塚市立学校の「いじめ事案」について

会議の概要

開会 午後 2時00分	
五十嵐教育長	令和4年第2回宝塚市教育委員会の会議（定例会）を開催いたします。傍聴希望の方はいらっしゃいますか。
岡本課長	おられません。
五十嵐教育長	本日の署名委員は松浦委員です。よろしくお願いします。 本日の付議案件は、議決事項1件、議決事項以外の案件1件です。 なお、木野委員はオンラインでの参加となります。 それでは、進行について事務局からお願いします。
岡本課長	本日の付議案件は、議決事項1件、議決事項以外の案件1件です。 議案第1号 令和4年度教育委員会所管一般会計予算（案）の提出について意見を申し出ることについて 報告事項 令和3年（2021年）12月における宝塚市立学校の「いじめ事案」について 予算に関する審議が終了しましたら、控えている担当は退出させていただきます。 また、報告事項につきましては、個人に関する記載があるため、非公開での報告でお願いいたします。 御審議のほどよろしくお願いいたします。
五十嵐教育長	それでは、議案第1号 令和4年度教育委員会所管一般会計予算（案）の提出について意見を申し出ることについて、担当課より説明をお願いします。
小松係長	議案第1号 令和4年度教育委員会所管一般会計予算（案）の提出について意見を申し出ることについて内容を御説明申し上げます。 本件は、令和4年度一般会計予算のうち、教育委員会関係予算に関しまして、令和4年3月定例市議会に議案を提出するにあたり、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定により、市長に次の予算案をもって意見を申し出るものです。 令和4年度教育委員会所管一般会計予算（案）について、歳入額は2,820,800千円、歳出額は6,235,015千円といたします。

このほか、債務負担行為（案）として、学校園施設警備業務委託料等を設定いたします。

続きまして、資料に沿って新年度予算案の概要と主な内容について御説明いたします。議案書の6ページを御覧ください。

令和4年度一般会計歳出予算における款10教育費の予算額は9,666,684千円で、令和3年度に比べて182,883千円、約1.9%増加しております。

また、一般会計予算に占める教育費予算の割合は前年度と同じく11.6%となっています。ほぼ前年度と同程度の予算規模となっていますが、令和2年度から3年度にかけて約16億円増加したこともあり、教育費としては過去最大規模となっています。

なお、このたび意見を申し出る教育委員会所管の予算につきましては、下の表を御覧ください。A欄にありますように教育予算9,666,684千円から、その下B欄の教育委員会所管外のもの、子ども未来部で所管しております、私立幼稚園利用給付費、私立幼稚園助成事業補助金、それから給与労務課等で所管しております、人件費等を合わせた約3,430,000千円を除き、10教育費以外で計上しているおよそ1万円を加えました、6,235,015千円となります。

続きまして、令和4年度に新規又は拡充事業として実施するものを中心に、事業について簡単に御説明いたします。

次の7ページ以降を御覧ください。なお、令和4年度の予算編成に際しましては、これまでの事務事業の統合や整理を実施しまして、昨年度当初予算の時点で90事業あったものを77事業まで整理を行っております。

それにより、同一事業名であっても昨年度と実施内容が若干異なるもののほか、事業ごとの予算で見ますと、事業の統廃合により大幅な増減が生じているものもあります。そのため、各事業に掲載しております「前年度比」の欄に関しましては、参考値としてご参照いただければと思います。

では、中身について簡単に御説明いたします。

まず、学校園等の施設改修などの教育環境の整備につきましては、議案書

の8ページ、No.6 小学校施設整備事業、No.7 中学校施設整備事業、No.8 特別支援学校施設整備事業、No.9 幼稚園施設整備事業の中で計上しております。

なお、校舎等改修工事につきましては、老朽改修や空調設備改修などのほか、長尾台小学校における法面整備工事の実施を予定しております。

そのほか、18ページのNo.69 公民館管理運営事業、19ページのNo.73 西図書館管理運営事業において、本年度より実施しています西公民館及び西図書館の空調設備等の改修工事費を計上しております。

今申し上げました工事費につきましては、令和3年度中に予算措置したものを繰り越して執行するものがあるほか、学校の施設修繕につきましては、国の交付金が採択されるタイミングが不明瞭であったため、令和3年度と4年度において二重で計上しているものがございます。この二重計上分の取扱いについては、後ほど御説明させていただきます。

次に、7ページを御覧ください。No.3 教職員総務事業では、市内37校へのスクールサポートスタッフ配置のため、約24,000千円を計上しております。

次に、12ページです。No.26 生徒指導支援事業におきまして、学校における課題解決への取組を強化するため、スクールロイヤーの配置に係る費用を計上しております。

次に、学校におけるICT環境の活用のための費用として、16ページのNo.54 スクールネット活用事業におきまして、校務用コンピュータ機器やGIGA用タブレットに係る費用を計上しております。

最後に、18ページを御覧ください。No.68の宝塚自然の家管理運営事業におきまして、令和4年度からの指定管理者制度導入に合わせまして、施設指定管理料等を計上しています。

非常に厳しい財政状況ではありますが、今後も新たな取組に対する事業費の確保に努めてまいります。

また、今回の当初予算では、学校園における新型コロナウイルス対策に関する費用は表立って計上していませんが、令和3年度からの繰越予算として、事業一覧の7ページを御覧ください。No.2の各種学校園運営事業におきまし

て感染症対策事業費の予算措置を行っているほか、その他の各事業におきましても、国補助金の活用や事業費の精査により、予算確保を行っております。

今後も、各種補助金・交付金の活用を進め、教育環境における十分な感染症対策を進めてまいります。

令和4年度当初予算に係る概要の御説明は以上ですが、最後に1点補足がございます。

先ほど御説明いたしました、施設改修に係る二重計上の件につきまして補足します。

先日、国交付金内定の連絡がございまして、令和3年度分として前倒しで予算措置されることとなりましたので、先ほど御説明しましたように当初予算での計上分については減額の補正を行うこととなります。

その他、国によります新型コロナウイルス感染症対策のための臨時交付金を充当する事業がこれまでの補正で計上してきたところですが、さらに追加される見込みでありまして、こちらにつきましては、増額の補正を行うことが見込まれています。通常こうしたような補正というのが、新年度の4月以降の市議会において補正予算として審議されることになるのですが、本年度中に臨時交付金の執行を行わなければならないというルールがありますので、異例ではあるのですが、現時点で判明している補正につきましては、今回の3月市議会において、今御説明いたしました当初予算と合わせて審議される予定となっています。

そのため、次回の教育委員会で令和3年度分の補正予算について御提案する予定としているのですが、それに追加して先ほど御説明いたしました、令和4年度の補正予算についても、あわせて御提案をする予定としています。

令和4年度当初予算の概要及びそれに関係する今後の流れにつきましての御説明は以上です。よろしく御審議いただきますようお願いいたします。

五十嵐教育長

ありがとうございます。

概要についての説明がありましたが、これだけでは分からない部分もあると思いますので、続けて令和4年度のそれぞれの重点取組などについて各部から説明をお願いできないでしょうか。

村上部長 管理部のほうから申し上げますと、繰り返しのようになりますが、No.6 小学校施設整備事業ということで、だいぶ工事をやるということと、もう一点大きいものとしまして、来年は工事の設計委託でございますけれども、長寿命化事業というものが本格的に始まってまいります。第1号が養護学校でして、養護学校を5年度から長寿命化工事ということで大規模な工事をするのですが、それに向けての設計業務を行います。

それとNo.10 中山台地区教育環境適正化事業、これは金額としては非常に少ないんですが、これは統合の記念式典事業ですが、これに関連しまして、来年度から小学校、中学校の一貫教育について、本格的に教育委員会の方で検討を進めていくということで、これは12月議会の方でも来年度はそういう取り組みをしますという表現をしています。管理部は以上です。

五十嵐教育長 予算的には、この施設改修にものすごく予算がとられます。

続いて、学校教育部の説明はありませんか。

美除次長 学校教育部の方から説明させていただきます。

資料の11ページのNo.24 特別支援教育推進事業のうちの学校における医療的ケア実施体制充実事業について説明をさせていただきます。

これまで、医療的ケアについては地域での受け入れを決めまして、必要に応じて個別に対応してきておりましたが、組織的な取り組みができていないという状況がありました。兵庫県が令和3年3月に医療的ケア実施体制ガイドラインを策定し、市の役割や市のガイドラインの策定を求められている状況がありまして、そして、昨年7月に国から事業の実施体制の今後なりを採択されたということがあり、児童生徒が安心安全な医療的ケアの実施に向けて、医療的ケア実施体制の構築と充実を図る目的で医療的ケア実施体制充実事業を令和3年度、今年の1月から新たな事業として始めることになりました。令和4年度につきましても、引き続きこの事業の取り組みを進めていこうとするものです。

現在、教育委員会では学校教育課に3名の看護師を配置しまして、医療的ケアが必要な子どもが在籍する小学校2名、中学校1名に看護師を派遣して支援をしている状況にあります。医療的ケアを行う場合は、医師の指示が必

要となりますが、基本的に医師は学校にいないということになりまして、主治医からの指示書の内容に従って、看護師のみの判断で医療的ケアを実施しているのが現状となります。医療的ケアの助言や指導を受けるために、医療的ケアの指導医を医師会の方をお願いをしまして、学校における支援体制を整えていくとともに、医療、福祉、教育の関係者で構成する医療的ケア実施体制の整備に関する検討会を開催して情報共有を図りながら体制、整備の充実を図っていきたいと考えています。具体的には、検討会を開催する、実践的な研修を受ける機会を確保して巡回指導などの方法によって対応していくといった内容についての予算を今回計上させていただいています。

五十嵐教育長

続いてあれば、どうぞ。

平野課長

学校教育課です。12ページのNo.26生徒指導支援事業のスクールロイヤー配置にかかる費用について、御説明させていただきます。これが新規になります。

スクールロイヤーに関しましては、総合教育会議でも御説明させていただいた通りです。現在、専門職等のあり方研究検討会というものをもちまして、導入の仕方、活用の仕方について協議させていただいているところです。

内容に関しては、子どもに寄り添った問題解決をするということを目的にして導入をさせていただきます。スクールロイヤーの導入は、既存のソーシャルワーカー、スクールカウンセラーとチームを組んで学校の大きな事案にあたっていただくとか、もしくは、学校が教育委員会を通してスクールロイヤーに相談をさせていただき、法律的な部分での助言をいただくといった活用の仕方を考えているところです。

続きまして、13ページのNo.31コミュニティスクール事業について御説明をさせていただきます。

コミュニティスクールに関しましては、数年前から導入を順次行っているところです。今年度末で20校がコミュニティスクールの導入が出来ていることとなります。来年度、残りの16校が導入を行うということで、来年度すべての学校がこのコミスクを導入できることとなります。

もう一つ課題がありまして、現在市の方で進めているのが、いわゆる「

宝塚型」と私たちが言っている形のコミスクになっていますが、国基準のコミスクに順次移行していかないといけないという課題を持っておりますので、来年度以降順次進めていきたいと思っています。内容に関しては、国基準で言いますと、運営協議会の中で教育課程の承認をしていただくとか、人事に関しても運営協議会の方が意見を言えるといったようなことで、現在、宝塚が行っている内容とは少し異なっているものがあります。今までは、地域の方に支援をしていただくというスタンスだったのが、連携をして協働で学校を運営していくようなイメージのものに変わっていくと思っています。

ただ、人事に関して、個人的に「〇〇先生が良い・悪い」というのではなくて、運営に関して学校の教育課程の中でこのような内容に長けた先生が来てくれたら良いなというところも含めて、教育課程に則った人事の意見を伝えていくことができるというような形になってまいります。それを来年度以降進めていく中で予算を計上させていただいております。以上です。

辻本室長

教育支援室から、まずは教育研究課です。

16ページNo.54 スクールネット活用事業についてです。今年度でこれまで使用しておりました、校務用コンピュータの契約が切れるということで、方針について検討してまいりましたが、これまで職員室の教師が事務処理や、教材を作ったりしていましたが、GIGAスクール構想にあわせて授業にも使えるものということで、教育用・校務用を使用可能なシステムに変えていこうかと考えております。あわせてコンピュータセキュリティシステムにつきましても、これまでは学校のネットを中心にシステムを組んでいたところをクラウド上にデータを送ることで、作った教材もパソコンを教室に持って行って使っていけるというシステムが可能になる状況にしていくことでの予算計上をさせていただいております。

次に、No.51 学力向上推進事業です。自己表現力向上ワークショップで予算計上させていただいておりますけれども、これは施政方針の方にも挙がっていくところですが、これまで劇作家の平田オリザさんの指導を仰ぎながら、小学校を中心に自己表現力、演劇のワークショップを使いながらの自己表現力向上事業を行ってまいりました。これまでは小学校の方で手を挙げていた

だいて行ってきましたが、来年度から全小学校で実施、全市展開していく方向で考えております。そういったところでの予算計上をさせていただいていきます。

次に、17ページの教育相談事業ですが、すでにお伝えさせていただいておりますように、いよいよ教育支援センター小学部がこの4月より開設ということになってまいります。そういったところで、いわゆるランニングコストを計上させていただきながら、予算を組ませていただいております。支援室の方は以上です。

五十嵐教育長

続いて、社会教育部。

柴部長

社会教育ですけれど、No.68宝塚自然の家管理運営事業。宝塚自然の家については、昭和48年に施設が出来まして開設より45年以上経過し、建物の老朽化による耐震化対策を行わなければならない状況の中、平成27年度末をもって一旦休所しておりました。それ以後6年経つんですけれど、やっと再開ということで、それも全部ではなくて一部、徐々にという再開となるんですけれど、令和4年4月から3年間一般社団法人宝塚にしたに里山ラボを指定管理者として再開するというようになっております。再開にあたりましては、森林環境譲与税を活用しまして、令和3年度中に駐車場、木造の管理棟を新設しました。それに加えてアスレチックコースの拡張ということで3か所工事を行っております。この自然の家のビジョンとしましては、指定管理者のほうで「みらいの里山を作る場」「対話と交流」「連携拠点とし、『自然』『文化・暮らし』『食（育）と農』を柱に体験プログラムを組んで子どもたちもそうなんですけれども楽しんで学んでいただきたいと、そういう社会教育施設にしていきたいと考えております。問題点としましては、施設の整備。これがちょっと全然できていない部分がございます、これについても極めて厳しい本市の財政状況の中で、先程申し上げました、森林環境譲与税等を使いまして、施設の整備をどんどんやっていきたいなど。特に耐震性に問題がある施設等そのままの状態になっておりますので撤去し、それでまたスペースを加工して、活用できる施設を建築していくと。年次的に計画的に、少しずつやっていきたいと考えております。

それとあと、その下のNo.69とNo.73ですけれども、これは、先ほど管理部の方から説明がありました、西公民館とそれから図書館の空調設備、これをやっと改修します。本当にひどい状況で、室内が夏で33度。このような状況でとにかく早くしていただきたいということで要求していたんですけれども、やっと今、工事に入っております、来年の夏には間に合うという状況です。

最後になりますけれども、No.70市史編集事業ということで、これはビラをお配りさせていただいています。この事業ですけれど、「宝塚デジタルミュージアム」を公開するというので、これは前年度の予算でついているんですけれども、市史等ですね、貴重な郷土資料228点、内容としては、宝塚市史、絵葉書、旧松本邸の360度パノラマ、近世絵図、あと西谷村役場の文書、それと各施設においております、たからづか文化財のさんぽマップ、この6つのコンテンツに係る資料を高精細画像で公開し、翻刻機能、キーワード検索など便利な機能が搭載され、市民の方々が気軽に郷土資料に触れることができる、そういう充実した内容になっております。

この事業につきましては、宝塚市教育振興基本計画に掲げる「魅力ある図書館づくり」や「郷土資料の収集と情報発信を進めます」の取り組みに基づく、宝塚市立図書館サービス向上計画の中の具体案である、「郷土資料のデジタルアーカイブ化」の実現を目的として取り組んでまいりました。外部団体の公益財団法人図書館振興財団の図書館振興に係る助成制度を受けまして、書面とプレゼンの二度の審査を中央図書館と社会教育課の連携により通過しまして、1,730万円の助成金を去年得られ、今年度予算化し、この2月1日から公開致しております。この事業については、学校教育の現場での活用、それから文化・観光振興などにおける利活用で地域の活性化を目指した、宝塚市の魅力の発信拠点の一つとなるような内容の充実に今後取り組んでいきたいと思っております。社会教育部からは以上です。

五十嵐教育長

はい、ありがとうございます。各部の方から予算に関して主な事業の説明をしていただきました。何かここまでで御質問等ございますか。木野委員どうぞ。

- 木野委員 予算というのはどうしても難しくて、分からないことがたくさんあって初歩的なことを伺ってちょっと申し訳ないかもしれないんですけども。
- まず、最初2ページなんですけれども、歳入28億に対して歳入が62億というこの全然違うんですけれども、これは何でこう違うんでしょうか。ちょっと基本的なことかもしれないんですけども。
- 五十嵐教育長 はい。では、お願いします。
- 小松係長 教育企画課の小松です。木野委員が仰いますように、歳入と歳出予算というのは基本的に同額になるものです。こちらに関しましては、あくまでも教育委員会に関するもののみで挙げておりますので、歳入の方がだいぶ少なくは見えるんですけれども、市全体の一般会計予算として見ますと、こちらに市税等の歳入が含まれて、最終的には歳入歳出同額になるような予算となっております。なので、あくまでも教育委員会に限ると歳入の方がだいぶ少なく見えるというふうになっております。以上です。
- 木野委員 分かりました。ありがとうございます。続いていいですかね。
- 五十嵐教育長 はい、どうぞ。
- 木野委員 私立の二つは子ども未来部ですかね。教育委員会とは別ということですよ。
- 小松係長 はい、そうです。
- 木野委員 この下の給与労務課所管人件費、これはどこの人件費ですか。
- 小松係長 こちらは、我々職員の基本的な給料がここに入ります。以上です。
- 木野委員 教育委員会事務局のみなさんという感じですかね。
- 小松係長 はい、そうです。
- 木野委員 あとはそれに関連してですけど、スクールサポートスタッフは、3のところと仰っていましたかね、7ページの。
- 小松係長 はい、そうです。
- 木野委員 この1番上でしょうかね、黒ちょぼの。会計年度任用職員。
- 小松係長 そうです。会計年度任用職員という、かつての制度で申しますと臨時職員、アルバイトですね。その人件費というのは、もともと教育委員会の職員課で所管しておりまして、今回スクールサポートスタッフも同様の仕組みに乗っ

かるということで、この中で2, 400万円程を計上しているということです。以上です。

木野委員 はい、ありがとうございます。ちょっとたくさんですみません。もう一つだけですけど、17ページです。No.61の子ども支援事業の一番上のちよぼの子ども支援サポーター報酬が5, 500万ですかね。ちょっと目立って大きいように思ったんですけど、これはどういう形ですか。

辻本室長 はい、教育支援室の辻本です。この支援サポーターというのは、各学校に配置しているサポーターなんですけれども、別室指導員であったり、またコーチングサポーター、いわゆる小学校から中学校に円滑に中学校生活が送れるようにということで、心理的な面でもサポートしていかないといけないので、子どもに対して付けていくというようなところのサポーターになってきます。

木野委員 はい、分かりました。ありがとうございます。以上です。

五十嵐教育長 よろしいでしょうか。

木野委員 はい。

五十嵐教育長 はい、ありがとうございます。他に御質問等ございませんか。松浦委員。

松浦委員 今、学校訪問をずっとさせていただいてまして、時々、教育委員会の中とか、それから教育総合会議で中間報告みたいな形で報告させていただいているんですけど、前回の総合会議の時に春日井委員からもお話があったと思うんですけども、いじめに関して教職員とかそれから子どもたちとそれから保護者向けのパンフレットのようなものを作ってやっぱり毎年それを配ることで、皆さんに意識を持ってもらうというようなことが、学校の現場の方からぜひそういうことをしてほしいという意見が出て、それは本当にとっても良いことじゃないかということで、比較的予算的にもそう大きくないので、これは実現可能なんじゃないんですかというような話が出たと思うんですけど、そういうことはご検討いただけなかったかなと思ひまして。

五十嵐教育長 はい、学教の方いかがでしょうか。

平野課長 学校教育課平野です。すいません、今回の予算の中に特にそのことに特化したものということでは、計上はできてはないかと思ひます。ただ、取り組

みとしてももちろん非常に大切な取り組みだと思いますので、何らかの形で、子ども、保護者、学校にももちろんなんですけれど、そういう働きかけができるような取り組みはしっかりとしていきたいと思います。

松浦委員

はい。

五十嵐教育長

予算的には出来ていないということですが、その取り組みに向けて、準備はもうもやっつけていかなきゃいけないと思いますので、それは、もう今年度から始めさせていただきます。パンフレットができないにしても、ホームページ等を通じて周知することは出来ると思いますので。

パンフレットにすることについては、今後回答させていただきたいと思います。

松浦委員

はい。

五十嵐教育長

他に御質問等ございませんか。

篠部委員

はい。質問というか一つお願いなんです、No.24の特別支援事業の計画の最後の学校における医療的ケア実施体制の充実事業というところで、これ医療ケア、一人ドクターを学校のほうにも、今看護師さんは配置されているんですが、配置してほしいということで医師会の方に依頼が来ているんですが、人選がだいぶ苦労しているようなので、具体的にどういった仕事の内容なのかというのをもう少し詳しく医師会の方に伝えて頂ければ、それが出来るか出来ないかというのが分かって良いと思います。みんな漠然とケアが必要な子どもさんの面倒を見ないといけないので、どこまでするのっていうのでだいぶ困っているみたいなんですよね。だから、実際前例があればどういう仕事の内容かっていうのを伝えて頂けるとわりと人を選びやすいかなと思います。みなさん主治医がついている状態ではあると思うので、基本的な医療は受けていると思いますから、その学校現場でどれぐらいのところまで仕事をしないといけないのかっていうのを示していただけたらありがたいなと思います。お願いします。

五十嵐教育長

いかがですか。それは出来ますか。

美除次長

はい。実際に今、看護師のほうで支援に行っているんですけれど、やはり学校という現場の中で対応していますので、いわゆる医療の現場とするの

とは、やはり違うというところで、やっているそのやり方については、主治医からの指示書が出たりして動いてはいるんですけど、内容について、指導医の先生に見て頂いて、こういう形でやっている、それについてはそのやり方で良いとか、色んな御助言をいただくとかあるいは、相談をさせていただくとか、そういうお願いをしていきたいということをお願いをしています。ですから、少しまた、医師会に具体的に提示していきたいと思います。

篠部委員 お願いします。

五十嵐教育長 たぶん篠部委員が仰ったのは、具体の様子を知らせてくれということですよ。

篠部委員 そうです。頼まれているんですけど、じゃあ何科の先生が適任なのか、単に小児科の先生なのか、それか障碍のある子どもを診ている先生じゃないと診られないのかとか、誰ならいけるのかとか出務の拘束時間とかも詳しく知りたいみたいで、それによってどの先生を推薦しようかなっていうので今だいぶ会長が苦勞しているみたいなので、お願いします。

美除次長 はい、分かりました。

五十嵐教育長 そこちょっと密に連絡を取ってください。お願いいたします。

美除次長 はい。

五十嵐教育長 他に何か御質問ございませんか。それでは、御意見でも結構ですよ。よろしいですか。

委員 (なし)

五十嵐教育長 それでは、議案第1号 令和4年度教育委員会所管一般会計予算（案）の提出について意見を申し出ることにについては、提案通り可決といたします。ありがとうございました。

では、次の案件は、先ほど事務局から説明がありましたとおり非公開とします。

では、報告事項 令和3年（2021年）12月における宝塚市立学校の「いじめ事案」について、担当課より説明をお願いします。

【 非公開での報告事項あり 】

五十嵐教育長 本日本定の案件は以上です。他に何か御報告いただくようなことはあります
か。

岡本課長 ございません。

五十嵐教育長 それでは、本日の教育委員会をこれで閉会いたします。
どうもありがとうございました。

閉会 午後 ２時５０分
